

令和元年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第73回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

令和元年6月2日(日) Bブロック 決勝 富士北麓公園体育館 Aコート 第3試合

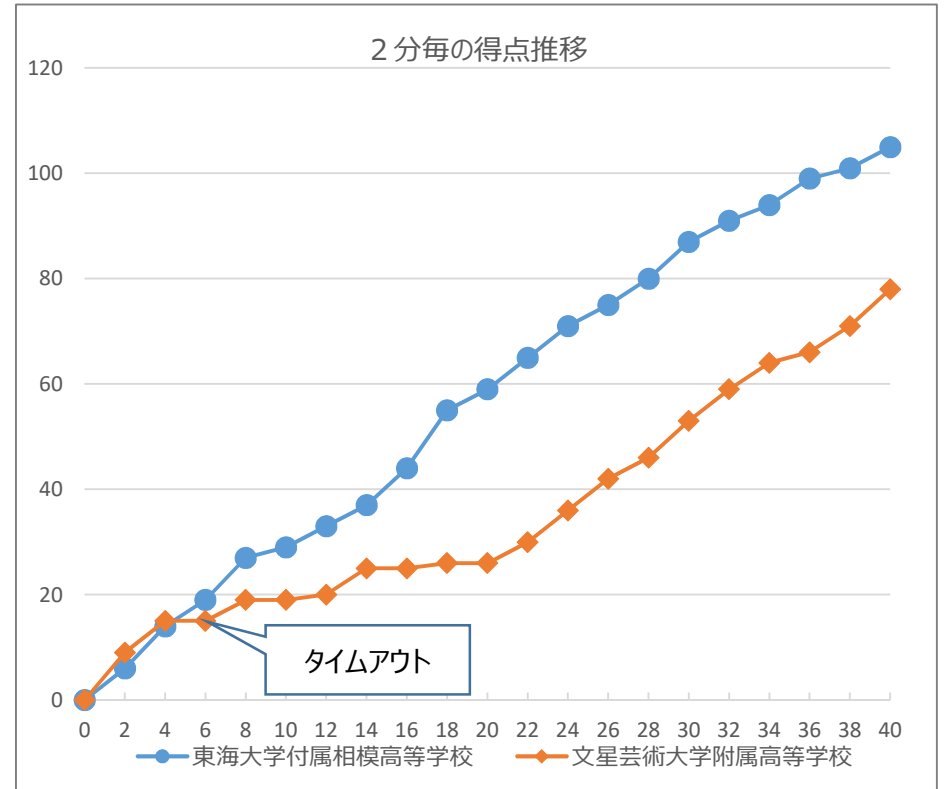
チームA 東海大学付属相模高等学校 (神奈川県)	105	29	1st	19	78	文星芸術大学附属高等学校 (栃木県)	チームB
		30	2nd	7			
		28	3rd	27			
		18	4th	25			
		OT					

Aチーム： 東海大学付属相模高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	熊谷 真希	14	0	3	7	11	0	0	2	4	2	6
2	*	5	菅澤 綾人	18	0	2	7	14	4	5	4	3	5	8
3		6	田尻 銀之介											
4	*	7	蛭子 修二	11	1	2	4	7	0	0	1	0	5	5
5	*	8	臼井 将也	20	0	1	9	14	2	4	3	5	2	7
6		9	佐藤 駿也	6	0	0	3	4	0	0	0	0	2	2
7		10	日下 爽	4	0	1	2	2	0	0	1	0	0	0
8		11	立花 諒	5	1	9	1	1	0	0	1	1	1	2
9		12	及川 聖人											
10		13	根岸 遥大	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
11		14	小山 開大	2	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1
12	*	15	御林 広樹	25	3	7	8	11	0	0	3	4	8	12
13		16	市川 凌大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14		17	菅原 大夢	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
15		18	土田 トリスタン 葉											
HC/TEAM			原田 政和									1	0	1
			合計	105	5	28	42	66	6	9	15	19	26	45

Bチーム： 文星芸術大学附属高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	坂本 亮雅	7	0	1	2	6	3	4	1	1	4	5
2		5	野口 拓哉											
3	*	6	清水 一樹	27	8	14	1	5	1	1	0	0	3	3
4	*	7	添野 快時	9	1	8	3	6	0	0	1	0	1	1
5	*	8	清永 湧士	1	0	0	0	4	1	2	1	1	3	4
6		9	塩田 勇次	2	0	1	1	3	0	0	2	1	2	3
7		10	小澤 勇希	2	0	0	1	2	0	0	0	0	1	1
8		11	石塚 大暉	8	2	2	1	2	0	0	0	2	1	3
9		12	菊池 勇希	10	0	3	3	8	4	6	1	0	0	0
10	*	13	伊藤 恒星	8	2	3	1	5	0	0	0	2	2	4
11		14	大石 英昇	2	0	2	1	1	0	0	0	0	3	3
12		15	御堂地 香楽	2	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0
13		16	今井 翔大											
14		17	宇賀神 嘉康											
15		18	阿部 隼人											
HC/TEAM			伊藤 均									1	1	2
			合計	78	13	35	15	43	9	13	7	8	21	29



戦評

記事者：細田 智彦 (山梨県高体連)

両チームハーフコートマンツーマンでゲームスタート。東海相模#7のゴール下シュート、文星附属#6の連続3Pから始まり、1Qは激しい点の取り合いとなる。東海相模#7が3Pやジャンプシュートを沈め、29対19東海相模10点リードで1Q終了。2Qは東海相模のペースに。なかなか点がとれない文星附属はメンバーチェンジにより、追いつきたいところだが、シュートが落ち得点が伸びない。一方で、東海相模は攻撃の手をゆるめず#15のゴール下シュートや3P、スティールやリバウンドからのファストブレイクで#4#5#11が得点を重ねていく。59対26東海相模リードで2Qを終える。3Qになっても着実に得点を積み重ねる東海相模に対して、文星附属#6が3Pを連続して決めていく。文星附属はメンバーチェンジをしながら、フルコートプレスやゾーンD Fで流れを変えようとする。文星附属#10が最後に3Pを決め、87対53で3Qを終える。4Q、文星附属は#15#11#13の3P、#12のレイアップシュートなどで粘りを見せるが、105対78で試合終了。圧倒的な攻撃力で、東海相模がBブロック決勝を制した。一方で、最後まであきらめず、多くの3Pを沈めた文星附属が準優勝となった。

主審	第1副審	第2副審
加納 康平 (神奈川県)	佐田 幸一 (山梨県)	一色 渉 (茨城県)